県産モモ、半値以下

東京、神奈川13卸売市場

生産量全国2位の本県産モモの今年8月の平均卸売価格が1キロ当たり195円と、昨年同期比で55%下落したことが3日、分かった。東京電力福島第一原発事故による風評被害が最大の原因とみられる。大田市場など東京、神奈川の13市場の平均卸売価格を日本園芸農業協同組合連合会（日園連）が調べた。

原発事故　風評被害が最大要因

本県産モモは8月中旬が出荷のピークだった。日園連によると、13市場での本県産モモの平均卸売価格は、昨年8月は1キロ当たり437円だった。市場での取扱量は今年8月は564トンと、前年8月の295トンから2倍近くに。直売所や観光農園で売り上げが低迷した影響で農家が市場流通を増やしたためと考えられ、市場卸売価格の低下につながったとみられる。

本県産モモの価格

産地		昨年8月	今年8月
本県	価格	437円	↓195円
	取扱量	2953トン	↗5640トン
全国	価格	453円	↓295円
	取扱量	6974トン	↗10371トン

※価格は1kg当たり。日本園芸農業協同組合連合会調べ

8月10日、出荷ピークを迎えたモモの箱詰め作業をする女性＝福島市飯坂町のJA新ふくしま

需給バランスの崩れ反映

直売所や贈答用 売り上げ減

県園芸課によると、本県のモモの栽培面積の半分ほどを占める、主力品種の「あかつき」は今季、原発事故に伴う風評被害の影響で、直売所や観光農園の贈答用販売などが大きく落ち込んだ。さばききれなかったモモが市場に回ったほか、気候条件によって収穫時期が例年より数日遅れたことも重なり、お盆前に一気に市場流通が増加。こうした要因で需給バランスが崩れたことが卸売価格の下落につながったとみられる。

県内では今後、ナシやリンゴの出荷も本格化する。県の担当者は、「風評被害解消のためには、モニタリング検査の結果をしっかりと示すとともに、キャンペーンなどで消費者と直接対面して安全であることを訴えていくことが大事だ」と話している。

日園連の担当者は「1キロ当たり100円台では農家の手取りはゼロになる。風評被害が今年1年で終われればいいが…」と話した。

13市場で扱っているモモ全体で見た場合でも、昨年8月が1キロ当たり453円だったのが今年8月は1キロ当たり295円と下落、本県産の買い控えが市場全体を押し下げたという。

頭抱える果樹農家

福島市でモモなどを生産する果樹農家の佐藤健一さん(68)は、「どうしようもない状況。贈答用のモモも風評被害のため市場に流れ、価格下落に拍車を掛けている。今年は天候も良く、例年並みの収穫量で出来も良かったのに残念。農家仲間も頭を抱えている」と嘆いた。

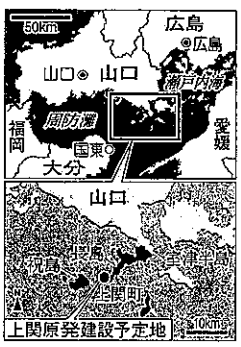
JAは賠償請求する方針

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策県協議会は、モモの価格下落分についてもこれまでの野菜、果樹と同様、東京電力に損害として賠償請求する方針。

震災後も「推進」不変

建設是非に揺れる町

上関原発予定地（山口県）



「原電を妨害する人は上関町に来ないで」。上関原発（山口県上関町）の予定地に向かう県道を車で走ると、そう書かれた看板が目に飛び込んできた。東日本大震災前に発注し、3月の発生直後に設置されたという。

〝原電〟は原発を指し、推進派が使ってきた言葉。反対派の海上抗議活動もあり、町は30年にわたり建設の是非に揺れてきた。だが、福島第一原発の事故後も地元で反対派に転じる住民は少なく、町は「絵に描いた原発」に将来を託している。

反対に転じる住民少なく

▼「反対」の波

8月6日。広島。原爆ドームの周辺を若者や家族連れがプラカードや横断幕を手に練り歩いた。「ノーモア・ヒバクシャ」に「上関原発はいらない」がまじる。中国電力本社前に差しかかると、声を張り上げた。

予定地は瀬戸内海に張り出した室津半島と橋でつながる長島にある。スナメリが生息する豊かな海。対岸の祝島住民の多くが「命の海」と呼び、反対してきた。震災後、周辺の市町議会でも計画への批判が続出。8月には、海を挟んで40キロ圏の大分県国東市議会が建設中止を求める意見書を全会一致で可決した。

中国電力の上関原発建設予定地（中央）＝5月17日、山口県上関町で共同通信社ヘリから

▼財源

当の上関町では事情が違う。「人並みの生活を望むことが悪いんですか」。大雨になるとバケツを持ち、雨漏りの対応に追われる老朽化した町役場で、柏原重海町長は原発推進の思いを語った。

2011年度当初予算約44億円のうち、約12億円が原発関連の交付金や中国電力の寄付金。自主財源は2割、高齢化率は50%目前で、町幹部は「安定した住民サービスの提供に原発関連のお金が必要」と話す。

▼危機

本体工事着工が予定されていた12年度からは、促進対策分として上関町に86億円、周辺2市3町に計86億円が交付される予定だったが、福島の事故で情勢は一変。担当者も「現状では厳しい」と険しい表情を見せる。

3月中旬、町では中国電力の社員が全戸訪問を始め、「安全な発電所づくりに万全を尽くします」と資料を手に住民に安全対策を説明した。

地元の意向が変わるのを恐れたからだが、「事故を教訓にもっと安全な原発を造ってほしい」との声も多い。反対派も「長年のしがらみもあり、地元で脱原発は広がっていない」と漏らす。同町は原発を頼りに単独町政を貫いてきた。「危機的な岐路に立っている」。町長の言葉が原発建設に揺れる町を表している。

日本を創る　原発と国家―「電力」の覇権　【7】

東電「水漏れではない」

第一原発 4号機燃料プールで

東京電力福島第一原発4号機の使用済み燃料プールから水漏れの恐れがあった問題で、東電は3日、見つかった水は漏れたものではなく、結露や雨水の可能性が高いとする見方を明らかにした。

東電は、プールの水が漏れた場合にたまる容器内の水を詳しく分析。プールに腐食防止のため注入した薬剤ヒドラジンが検出されなかったほか、塩分濃度もプールの水と大きく異なっていたことから、水漏れではないと判断した。

一方、経済産業省原子力安全・保安院は「まだ水漏れかどうかはっきりしないので引き続き監視する」としている。

また東電は3日までに、衆院の特別委員会からの要請に応じ、福島第一原発の事故時の運転操作手順書を保安院に提出した。東電の松本純一原子力・立地本部長代理は「社内文書なので一般には公開しない」としている。

■解体の芽

6月14日。「賠償支援機構」を通じて国が資金を注入する枠組みが固まった。株主や取引銀行の負担の在り方も今後検討するとした「付帯決議」も盛り込ませる。延命が一転し、将来に向けて残された解体の芽を示したり、国の応分の負担を求めたりした。

財務省幹部は「本当にはこのままでは破綻」と憤った。経済産業省の「改革」を訪ねた菅直人首相に「将来も電力供給の責任を果たす」と迫った。

電力労組が支援してきた民社党出身の元経産相、直嶋正行(65)は5月9日、官邸

北電が第三者委設置

泊原発「やらせ」調査で

北海道電力は3日、泊原発3号機（泊村）のプルサ

阪急阪神東宝グループ
古都金沢と氏遺跡3日間
コース番号
40877F-259
40877G-259
40877H-259
滋賀県まるごと大周遊
琵琶湖遊覧クルージングと三井寺
比叡山・延暦寺
なんと39,800円
創業300年
全量自然米・全量純米の蔵
田村ブランド
穏ブランド
ラベルがリニューア
キレのいい穏
自然米の旨みを活かしたキレのある辛口純米酒。
華やかな穏
自然米を50%に磨き込んだ、香りを楽しむすっきりとした辛口酒。
みずみずしくなめらかな穏
どんな料理にも相性が良い、バランスのとれたやや辛口酒。